磐梯町農業委員会 11月定例会総会会議録

1. 開催日時

日時 令和4年11月22日(火) 午前9時00分

場所 磐梯町役場 大会議室

2. 委員定数

17名

3. 本日の総会に出席した委員

会 長 12番 加藤 健一

会長職務代理者 11番 田中 重博

委 員

1番 金田 未樹 2番 鈴木 翼 3番 佐藤 栄祐

4番 前田 諭志 5番 川井 信之 7番 遠藤 充孝

8番 上野 庄市 9番 田中 茂 10番 佐藤 栄喜

農地利用最適化推進委員

3番 鈴木 照喜 4番 加藤 正己

4. 本日の総会に欠席した委員

委 員

6番 鈴木 勇一

農地利用最適化推進委員

1番 卯月 宏次 2番 鈴木 一功 5番 鈴木 庄次

5. 本会の総会に提案される議案は次のとおり

議案第69号 農用地利用集積計画の承認について(利用権貸借)

議案第70号 農地等現況確認証明申請(非農地証明交付申請)の承認について

6. 農業委員会事務局職員

事務局長 樋口 和博

農地係長 小川 克彦

7. 会議録

議長

本日、農業委員11名、農地利用最適化推進委員2名の出席により、磐梯町農業委員会

総会規約第7条に従い本総会が成立されたことを宣言いたします。

議長

日程第1 会議録署名人を議席順に指名してよいかを諮り異議なし多数により、次の委員を指名した。

議席 2番 鈴木 翼 委員

議席 8番 上野 庄市 委員

議長

日程第2 諸般の報告について事務局に説明を求めます。

事務局

日程第2 諸般の報告について資料に基づき朗読、経過報告を行った。

議長

日程第3 議案第69号 農用地利用集積計画の承認について（利用権貸借）事務局に説明を求めます。

事務局

日程第3 議案第69号 農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について（利用権貸借）、農業経営基盤強化法第18条第1項の規定により、下記農用地利用集積計画の決定について意見を求める、令和4年11月22日提出。

まず、1番でございます。利用権設定する農用地は、大字〇〇字〇〇60番外3筆 田 農振農用地 4筆面積合計は4,691㎡ 新規設定、利用権設定をする者（所有者）は〇〇の〇〇〇〇氏、利用権設定を受ける者（耕作者）は〇〇の〇〇〇〇氏です。利用目的は田、期間は5年1ヶ月、10アール当り賃借料は8,000円です。

続きまして2番です。利用権設定する農用地は、大字〇〇字〇〇31番 田 農振農用地 面積は561.39㎡ 新規設定、利用権設定をする者（所有者）は〇〇の〇〇〇〇氏、利用権設定を受ける者（耕作者）は〇〇の〇〇〇〇氏、利用目的は田、期間は5年、10アール当り賃借料は8,000円です。

次に3番です。利用権設定する農用地は、大字〇〇字〇〇6659-20外1筆 畑 2筆面積合計は5,312㎡ 新規設定、利用権設定をする者（所有者）は〇〇の〇〇〇〇〇氏、利用権設定を受ける者（耕作者）は〇〇の〇〇〇〇〇氏、利用目的は畑、期間は10年、10アール当り賃借料は3,000円です。なお、こちらについては、この後の協議事項で申し上げます荒廃農地再生事業の申請地ということになります。

以上、ご審議のほどよろしく願いいたします。

議長

ただいま事務局の説明が終わりましたが、質問、意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

この議案について異議がないものと認め、議案第69号 農用地利用集積計画の承認について(利用権貸借) 承認することに決定いたします。

議長

日程第4 議案第70号 農地等現況確認証明申請(非農地証明交付申請)の承認について 事務局に説明を求めます。

事務局

日程第4 議案第70号 非農地証明交付申請の承認について、令和4年11月22日提出。

1番です。農地の所在であります、大字〇〇字〇〇5746番1 地目が畑 現況が山林 面積が122㎡であります。権利種別が非農地証明でございます。所有者は〇〇の〇〇〇〇氏から申請が出されておりました、非農地の事由は昭和30年以降肥培管理が行き届かず、耕作しなかったため、山林と化し現在に至るということで、結果としては、現況及び申請書の経過等により非農地と判断したということです。

以下、2番と3番についても隣接しては同様の内容でございます。

次に2番です。農地の所在であります、大字〇〇字〇〇5746番4 地目が畑 現況が山林 面積が317㎡であります。権利種別が非農地証明でございます。所有者は〇〇の〇〇〇〇氏から申請が出されておりました、非農地の事由については1番と同様でございます。

次に3番です。農地の所在であります、大字〇〇字〇〇5746番7 地目が畑 現況が山林 面積が945㎡であります。権利種別が非農地証明でございます。所有者は〇〇の〇〇〇〇氏から申請が出されておりました、非農地の事由については1番と同様でございます。

以上3筆の内容でございます、タブレットで日程第4の資料をご覧ください。

まず、①の資料をご覧くださいと思います。現況確認証明確認書がありまして、現況確認調査員と事務局で現地の確認をした内容で、非農地と判断をしたということでございます。申請地の所在、面積等が記載されております。次ページからが〇〇〇〇さんから提出された申請書になります。土地の所在、所有者確認していただいて、案内図ということで、〇〇集落で株式会社〇〇〇〇の南側、林道北堰赤枝線の隣接した南側ということになります。このあと説明します2筆についてもこの土地と隣接している土地となっております。次のページで登記簿謄本がございます。こちらでは地番、地目、地積、所有者が確認できるかと思います。なお、所有者の住所が現住所と違っております。こちらについては確認する書類を添付していただいております。次に現況写真が添付されておりますが、すでに山林化している状況であります。次が法務局備え付けの公図の写しが添付されてお

りますので確認いただきたいと思います。次に非農地化した経過ということで、〇〇〇区長さんから証明をいただいております。経過は記載のとおりでございます。次が、戸籍抄本と戸籍附票が添付されております。先ほどの登記簿謄本の住所になっているのかわかると思います。

次に②でございますが、①同様にご覧いただければと思います。現況確認証明確認書がありまして、非農地と判断をしたということでございます。次ページからが〇〇〇〇さんから提出された申請書で、土地の所在、所有者確認していただいて、案内図ということになります。次のページで登記簿謄本がございます。こちらでは地番、地目、地積、所有者が確認できるかと思います。なお、こちらも所有者の住所が現住所と違っております。こちらについても確認する書類を添付していただいております。次に現況写真が添付されておりまして、法務局備え付けの公図の写しが添付されております。次に非農地化した経過ということで、〇〇〇区長さんから先ほどと同じ内容で証明をいただいております。経過は記載のとおりでございます。次が、戸籍抄本と戸籍附票が添付されております。先ほどの登記簿謄本の住所になっているのかわかると思います。

次に③でございます。こちらについても現況確認証明確認書がありまして、非農地と判断をしたということでございます。〇〇〇〇さんから提出された申請書で、土地の所在、所有者確認していただいて、案内図ということになります。登記簿謄本がございます。次に現況写真が添付されておりまして、法務局備え付けの公図の写しが添付されております。次に非農地化した経過ということで、〇〇〇区長さんから先ほどと同じ内容で証明をいただいております。経過は記載のとおりでございます。

以上3件 同様な内容でございますので一括して提案させていただきますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

議長

ここで、現況確認調査員の遠藤 充孝 委員より説明を求めます。

7番 遠藤 充孝 委員

ただ今、事務局より説明のあったとおりですが、11月9日に遠藤委員、田中委員と私、樋口事務局長と小川係長で現況確認をしてみました。場所については、先ほど事務局長から説明があったとおりであります。株式会社〇〇〇〇の南側、この3名の方の農地、登記は畑になっておりますが、すでに山林化しておりまして、現況は山林であるということで現況を確認いたしましたので、非農地であるという判断をいたしましたので、ご審議のほどお願いいたします。

議長

事務局並びに調査員からの説明が終わりましたが、質問、意見ございませんか。

5番 川井 信之 委員

今回の3件以外で、この土地の周辺の現況はどうなっているのか。

7番 遠藤 充孝 委員

全て一緒に山林化しています。

5番 川井 信之 委員

わかりました。

議長

他に、質問、意見ございませんか。

11番 田中 重博 委員

確認ですが、写真を見ると立派な杉の木が植林されているように見えますが、山林化してというのは植林して山林になってということではないか。この書き方をきちんとしてほしい。耕作放棄地に植林して農地になる取扱いをしようという考えもあるので、明確に手続きと確認をしていかないといけないのではないかと思うので、その辺の取扱いはどうなのか聞きたい。

事務局

経過の中でも、昭和30年頃からということで、それ以前に取得した土地であるので、畑としてもらった土地だが、最初から耕作されていない状況という経過であったのかなということでもあります。植林したかどうかということまでは確認できておりませんが、林道に隣接している場所なので、作業条件は良い所なのかと思います。非農地の判断としては山林であるということで、事務局と現況確認調査員で見てきておりますので、ご審議いただくということでもよろしくお願いいたします。

議長

他に、質問、意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

この議案について異議がないものと認め、議案第70号 農地等現況確認証明申請（非農地証明交付申請）の承認について 承認することに決定いたします。

議長

日程第5 協議事項 1. 磐梯町荒廃農地再生事業補助金交付申請について
事務局に説明を求めます。

事務局

タブレットの日程第5 協議事項 1. 荒廃農地再生事業の資料をご覧いただきたいと思います。こちらも現況確認と同日に現況確認調査員と現地確認をしてきたところで確認書も添付させていただいております。申請人は〇〇の〇〇〇〇〇氏です。申請地が大字〇〇字〇〇〇の2筆です。次ページが申請書になります。令和4年10月31日に提出されております。再生面積が1,859㎡ということですので。次のページが荒廃農地になった経過ということで、石が多くて耕作できなくなったので、バックホーを利用して石取り作業

と木の根の掘り起こし作業を行うということでもあります。再生する荒廃農地の所在が2筆でございまして、先ほど利用権設定の決定をいただいた土地でございます。作付け予定作物はそばということです。面積については、1筆については4,981㎡の一部1,528㎡を解消していくということでもあります。見積書の単価については、〇〇地区の協定単価を参考にしているということでもあります。次に位置図がございまして、〇〇〇地区の畑になります。次に現況写真ですが、非常に石が多くて耕作ができないということでございます。今回、荒廃農地再生事業の10アールあたり10万円相当ということでの申請となっておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長

ただいまの件について、質問・意見ございませんか。

11番 田中 重博 委員

補助金交付申請の基準の中で、身内（親戚）は対象にならないという基準はないのか。

事務局

ありません。10年以上利用権設定をするということではありますが、そのような基準はありません。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

（「なし」の声あり）

議長

以上について、質問・意見無く、採決を諮り、異議なし多数のため、協議事項 1. 磐梯町荒廃農地再生事業補助金交付申請について 承認することに決定いたしました。

議長

日程第5 協議事項 2. 「令和5年度磐梯町農業施策に関する意見書」について
事務局に説明を求めます。

事務局

では、次に協議事項 2. 「令和5年度磐梯町農業施策に関する意見書」について説明いたしますので、タブレットとペーパーの資料をご覧いただきたいと思います。

こちらは毎年、町長へ農業委員会から提出している意見書になります。今年も提出していきたいということで内容について皆さまにご確認いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

まず、表紙の次が、令和5年度農業施策に関する意見書ということでございます。

「現在、農業従事者の高齢化や担い手の減少、遊休農地の増大等様々な課題を抱えている中、農業・農村の活性化を進めていき、持続可能な農業構造の確立を図るため、町農業の一層の振興に向け、令和5年度の磐梯町農業施策について農業者を代表して意見致しま

す。」ということでございます。下記が意見書の内容となります。

まず、1. 担い手への農地集積についてです。こちらは、・・・・・・となります。

次に、2. 遊休農地の解消についてです。こちらは、・・・・・・となります。

次に、3. 新規就農者の育成・支援についてです。こちらは・・・・・・となります。

最後に、4. 農業振興全般についてです。こちらは・・・・・・となります。

以上が、農業委員会から町へ提出する意見書の案でございます。皆さまからの意見を頂戴して検討していきたいと思っております。なお、意見書の提出は12月中旬を予定していますのでよろしくお願いいたします。以上です。

議長

ただいまの件について、質問・意見ございませんか。

10番 佐藤 栄喜 委員

今年の意見書は昨年と比べて、どの点に重点を置いているのか説明願いたい。

事務局

1については、人・農地プランの実質化は例年ではありますが、実質化されていない地区においてはコロナ禍ではありますが話し合いをして実質化の取組みをしていただきたいということでもあります。来年度から地域計画の策定が始まりますので、農業委員会でも関わりのある部分出てくると思いますので入れております。2については、荒廃農地再生事業については積極的に活用してほしいということ、県事業の遊休農地等再生対策支援事業についても県への働きかけをしてほしいという要望でございます。3については、多様な担い手の確保について追加の内容でございます。4については有害鳥獣対策については継続した取組みを要望しております。また、自然災害への対応については早急な対応と支援を行なってほしいという要望でございます。以上です。

10番 佐藤 栄喜 委員

ありがとうございました。支援の方では、多様な担い手の確保についてですが、定年帰農の部分を入れていただいているので良いと思います。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

11番 田中 重博 委員

意見書については、会長から町長に直接お渡しして、会談するわけですが、できれば事務局で作成したものを、12月中旬までに皆さまから意見頂戴して、具体的なこうしてほしいという、例えば、補助金の拡充であれば、金額が足りないとか、アンケートを取る等、次の一步を考えていかないといけないし、意見書に具体的な内容を付け加えていくのは農業委員会の役割であるし、町が動きやすいような建設的な意見を出さないと何も変わっていかないのではないかと思います。今年、ようやく多様な担い手の確保についてという部分ができたわけですが、例えば定年帰農にはどういう支援をすればいいのか、提出する

までに皆さんからご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

議長

皆さんからご意見あれば事務局までお願いいたします。

他に、質問・意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

以上について、質問・意見無く、採決を諮り、異議なし多数のため、2.「令和5年度磐梯町農業施策に関する意見書」について 承認することに決定いたしました。

議長

日程第5 協議事項 3. 令和5年度農作業労賃および各種加工料金協定表・賃借料情報(案)について 事務局に説明を求めます。

事務局

では、次に協議事項 3.「令和5年度農作業労賃および各種加工料金協定表・賃借料情報(案)」について説明いたします。また、タブレットとペーパーの資料をご覧いただきたいと思います。

こちらは、例年4月に発行しておりましたものですが、以前、委員の方から利用権設定を行なう際に新年度で合わせるために年初めに料金表を作った方がいいのではないかという意見をいただきましたので、今回11月定例会で検討いただきまして、来年1月の農業委員会だよりの発行と併せて全戸配布していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

こちらについてですが、JA農作業受託者会に今回の内容について確認したところ、特に意見ございませんでしたので、昨年と大きく変わったところはありませんが、通常作業が6,870円ということで、福島県最低賃金時給858円で昨年より30円アップしておりますので変更となっております。賃借料情報は、あくまで参考ということでご覧いただきたいと思います。

説明は以上となりますので、ご審議のほどよろしくお願いします。

議長

ただいまの件について、質問・意見ございませんか。

5番 川井 信之 委員

喜多方市では耕起作業のところでプラウ作業というのが入っているのですが、畑作が盛んになるとその作業が増えてくるので追加してほしいと思います。

事務局

内容確認して追加したいと思いますのでよろしくお願いします。

事務局

金額はどのくらいになりますか。

5番 川井 信之 委員

6, 000円ちょっとくらいになります。代掻きより高いぐらいの金額です。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

3番 佐藤 栄祐 委員

私が受託者会に加入していないのでわからないのですが、機械代や最低賃金が上がっているというのを考えると、生産費が上がっている中で、農業の分野でも上がってもおかしくはないと思います。それを受託者会に町から声かけをするのも間違いではないのかと思います。今は何をしても上がっているのに料金が上がらないというのもおかしいのかなと思いました。賃借料情報ですが、生産費や米価の推移もありますが、明確な情報も挙げた方がわかりやすいのかなと思いました。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

2番 鈴木 翼 委員

昔から東部・中部・西部で金額が違いますが、なぜここまで金額の差がでるのか。前に西部はコシヒカリがとれるから高いというのは聞いたことはありますが、売値は高くても単収は少ないので、コシヒカリが作れるから田の値段だけ上がるというのはコシヒカリを作る意味がなくなってしまうのではないかと思います。それなので、西部ばかり高いのかと思いました。地域別に分ける意味があるのかと。

事務局

昔の経過はわかりませんが、答えにはなっていないと思いますが、以前からそうなっているということです。見直せる部分があれば考えていくことも必要かと思えます。

事務局

まず、佐藤委員の質問ですが、受託者会の意見についてですが、あくまでも意見をいただくということで毎年意見をいただいております。今回についても変更するところはないという意見をいただきました。最終的な決定は農業委員会になりますので、金額の変更の意見があれば出していただいて、農業委員会で決定いただければと思います。それと、賃借料情報なので、生産費等あると思いますが、令和4年1年間の利用権設定の実績の金額を提示しているだけであって、あくまでも情報として見ていただければと思います。

また、鈴木委員から出た西部の田の金額が高いという意見についてですが、価格は農業委員会で定めていないので、町の固定資産税であったり、そちらは固定資産税評価額審査委員会で決められたりします。価格についても町内の農家に意見を聞いたりしていますので、取引価格は各農家から意見徴収して定めていますので、町の固定資産税の評価額から来ているものだという事になりますのでご理解いただければと思います。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

3番 佐藤 栄祐 委員

では、どのように金額を反映させればいいでしょうか。

5番 川井 信之 委員

佐藤委員の意見はわかりますが、最近は全ての金額が上がっていっていますが、それに連動して上げていった場合は、毎年見直ししなくてはならないし、平均的な値段で定めていることなので現状では難しいのではないかと思う。昔は農業委員会で金額を決めていたのだが、今は農業委員会では金額は決めずに平均的なところを提示しようということになっているので現実的には無理ではないかと思う。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

事務局

農作業労賃のところをもう少し上げてはどうかという意見ですよ。

3番 佐藤 栄祐 委員

はい。そうです。

事務局

それについて、皆さんからは特に意見はなかったと思いますが、※印にあるように、標準料金になります、色々な条件があると思いますので当事者間で協議の上決定して下さいということを記載させていただいております。

2番 鈴木 翼 委員

ただし、基準となる金額を下げるのはできるが、上げるというのは中々当事者間ではできないと思うのである程度高い金額設定が必要ではないかと思います。

事務局

どうしますか。料金表変えますか。

10番 佐藤 栄喜 委員

私は上げなくても良いのではないかと思います。

7番 遠藤 充孝 委員

上げなくても良いのではないかと思います。

議長

では、他に意見もないようですので、この料金表で行なうということにしたいと思いますが、なお、料金は当事者間で協議を行なうということによろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

議長

以上について、質問・意見無く、採決を諮り、異議なし多数のため、3. 令和5年度農作業労賃および各種加工料金協定表・賃借料情報(案)について 承認することに決定いたします。

議長

日程第6 その他 1. 今後の日程及び参加者について 事務局に説明を求めます。

事務局

1. 今後の日程及び参加者についてですが、・・・・・・・・次回定例会については、12月20日を予定しておりますので委員の皆様は日程の調整をお願いいたします。

議長

事務局からの説明が終わりましたが、質問・意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

日程第6 その他 1. 今後の日程及び参加者については異議がないものと認め、承認することといたします。

議長

日程第6 その他 2. 所有者・共有者不明農地等の取扱い手続きについて
事務局に説明を求めます。

事務局

タブレットで資料の「令和4年磐梯町農業委員会告示第9号」をご覧いただきたいと思っております。こちらは、農地法第32条第1項第2号又は第33条第1項に該当する農地であるということで、農地法の規定に基づいて告示をしております。11月9日に告示をしましたが、農地の所在は、先ほど諸般の報告でも申し上げましたが、〇〇地区の所在者不明農地でございます。大字〇〇字〇〇119番外計4筆、地目が田、面積が記載のとおりです。農地の所有者等の情報ということで、所有者というより使用者が〇〇〇〇さんでありまして、その方が未相続で使用していた土地であったところですが、この方がお亡くなりになって、その関係人全ての方たちが相続放棄をされてしまいました。その関係で農地法の規定による所有者不明農地という位置付けをいたしまして、福島県農業振興公社と関係者の情報収集を行なってきました。最終的には誰も使用しないという判断に基づいて、町では告示を行い、県でも告示を行うこととなります。告示をしてから6カ月以内に申し出がなければ、所有者不明農地として借りたい方に貸付けを行なうこととなります。その際に農地中間管理機構が間に入って貸付けを行ないます。これは所有者不明農地なので、誰からも借りることができないので、農地中間管理機構は使用料を供託することになりまして、賃借料を借入者から農地中間管理機構が受取るということになります。

これによって、今回借りたいという方が出てきておりますので、告示期間を経過した後にはこの農地を使用することができるということになります。

また、他にも所有者不明農地がございますので、このような手続きを取れば、貸し借りができるという道筋ができましたので、内容を良くご覧いただきまして、ご理解いただければと思いますのでよろしくをお願いいたします。以上です。

議長

事務局からの説明が終わりましたが、質問・意見ございませんか。

9番 田中 茂 委員

内容はわかりました。これからこのような土地がいっぱい出てくることが想定されると思います。確認ですが、告示をする場所はどこにするのか。また、集落への対応はどのようになっているのか。個人情報もあると思いますが、農業委員が借り手になれるのか。

事務局

告示については、町では掲示板で行なっています。また、集落に対しての対応は特に考えておりません。農業委員会の中で情報を皆さんにお繋ぎして、ご理解いただきたいと思っております。この告示期間が終了して、所有者不明農地として確定すれば、農地中間管理機構を通した一括方式での農地の貸し借りということになりますので、その時点で農業委員会ではご審議いただけるものと考えております。農業委員も自身が農業者であれば、借り手になるのは可能ですのでよろしく申し上げます。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

10番 佐藤 栄喜 委員

この件については、〇〇地区では進んだと思いますので良かったです。6カ月過ぎれば貸すことができるということですが、荒廃農地となっている場合は、借りる方が荒廃農地を使えるようにしてからなのか。その辺りはどうなっているのか。

事務局

町の荒廃農地再生事業では賃借期間が10年間ですが、所有者不明農地の賃貸借期間が農地中間管理機構では5年を目安にしていきたいということでもあります。そちらは供託金で県の予算の関係もございませぬ。賃借料も標準的な価格よりは多少は低い価格で借りられるようにしてはどうかという指導もありまして、ここを借りる予定の方も標準額よりも低い額での賃貸借を検討しているところです。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

8番 上野 庄市 委員

ちなみに、基盤整備の土地代は土地改良区には支払っているのか。

事務局

ここは、基盤整備は未整備地区でございます。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

日程第6 その他 2. 所有者・共有者不明農地等の取扱い手続きについては異議がな

いものと認め、承認することといたします。

議長

日程第6 その他 3. 磐梯町工場誘致促進委員会の開催について
事務局に説明を求めます。

事務局

では、タブレットで資料をご覧ください。

「磐梯町工場誘致促進委員会の開催について」ということですが、こちらは近年開催がありませんでした。町の方で今年度開催していきたい意向がありまして、農業委員会で協議いただきたいということでございます。委員会名簿で、任期は令和4年11月から令和6年11月までということになります。条文がありまして、町農業委員会委員が2名入ることになります。こちらについて打診がありましたので、加藤会長と田中職務代理人にお願いしたいということでございます。開催は12月以降になると思いますが、農業委員会でお諮りしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。

議長

事務局からの説明が終わりましたが、質問・意見ございませんか。

5番 川井 信之 委員

これは、工場誘致するというで開催していくということなのか。

事務局

そちらについては、担当から確認しておりませんでした。申し訳ございません。

10番 佐藤 栄喜 委員

町ではどこに誘致したいと考えているのか。

事務局

そちらについては、担当課の方に確認いただければと思います。

議長

他に、質問・意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

議長

日程第6 その他 3. 磐梯町工場誘致促進委員会の開催については異議がないものと認め、承認することといたします。

議長

その他 事務局からこれ以外で何かございませんか。

事務局

皆さまにお配りしているチラシをご覧ください。「ハクビシン等から畑を守るための勉強会」参加について(周知)でございます。明日の午後研修会が開催されます。最近、アラ

イグマの農作物の被害が見られるようになってきております。今回、小動物に関する研修会を開催することにいたしました。農業委員の方で参加できる方いらっしゃれば参加いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長

その他 事務局からこれ以外で何かございませんか。

事務局

では、私の方から2点ほど申し上げます。

1点目は、農業委員会活動記録セットでございます。提出いただきありがとうございます。なお、まだ提出されていない委員の方は、後日提出下さい。よろしくお願いいたします。2点目は、農業委員会だよりの原稿の提出についてです。12月2日までの原稿提出の締め切りとなっておりますので、ペーパーでもデータでも構いませんので、遅れずに提出よろしくお願いいたします。以上です。

議長

その他 これ以外で委員の皆さんからご意見何かございませんか。

(質疑ありませんので) 以上で、本会議を閉会といたします。ありがとうございました。

定例会閉会時間 午前10時48分

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するために議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和4年11月22日

議長（会長）

署名人

署名人